

ふだんのくらしのしあわせ

 社協だより Vol.120

2019年6月号



親子の居場所“ひよこサロン”。カフェも充実しました。
一度遊びにきませんか？

●会場／道の駅 開国下田みなと（午前10時から正午まで）

開催日	内容
6月20日(木)	ひよこサロン&たまごの会 手遊び、読み聞かせ、簡単工作
7月18日(木)	ひよこサロン&フラダンス教室 フラダンス
8月8日(木)	ひよこサロン&劇団「カキヌマ」 人形劇
9月19日(木)	ひよこサロン&T.C.Dance Company 親子リズム体操

お知らせ

- ・2019年度 下田市社会福祉協議会事業計画・当初予算
- ・社協会費ご協力のお願い
- ・しもだし夏休み学習サポート参加者募集
- ・市民後見人養成講座2019 説明会
- ・『みんなが誰かのために』寄付のご報告
- ・共同募金“ありがとうメッセージ”
- ・東日本大震災復興支援募金活動2019

2019年度 下田市社会福祉協議会の主な取りくみ

社会福祉協議会はそれぞれの市町に在り、地域に暮らすみなさまの協力のもとに、人びとが住み慣れたまちで安心して生活することのできる「福祉のまちづくり」活動を行っています。例えば、地域のボランティアと協力し、高齢者や障害者、子育て中の親子が気軽に集える「サロン活動」を進めたり、社協のボランティアセンターではボランティア活動に関する相談や活動先の紹介、また、小中高校における福祉教育の支援、そして生活上の困りごと相談や高齢者や障害者の在宅生活を支援するための訪問介護やデイサービスなど、地域福祉活動の拠点としての役割を果たしています。

地域福祉推進活動

誰もが住み慣れた地域で暮らせるように、地域のみなさまと福祉関係者が協力して、地域の強みを活かした福祉サービスに取り組みます。

1. 生活支援体制整備事業

地域包括ケアシステムの構築に向け、生活支援・介護予防協議体の運営を通じて、生活支援コーディネーターが行政・地域との協働による居場所・サロン活動の支援を行います。



2. 市民ボランティア活動の推進・ふれあい広場の開催

3. 小中学生へ福祉教育の推進

市内の小・中学生や地域住民が福祉を学ぶ機会を得るために、各小・中学校や地域の協力を得て実施します。



4. 子育て支援・子育てサロン事業

子育て活動者の育成・支援と、親子の居場所づくりを行います。

5. 家族介護支援事業

ご自宅で高齢者等を介護されているご家族の身体的・精神的負担を軽減し、より良い介護を行えるよう支援します。

6. 日常生活自立支援事業

軽度の認知症高齢者、知的障害者、精神障害者のうち、判断能力が不十分な方が地域で自立した生活が送れるよう、利用者との契約を結んで福祉サービスの利用援助を行います。



7. 日常生活で一時的に必要であると見込まれる資金貸付利用相談（生活福祉資金）

8. 高齢者等給食サービス事業

利用者の健康維持と孤独感を和らげるとともに、安否の確認を行います。

9. 手話奉仕員の養成

10. 車椅子の貸与

11. 社会福祉法人による協働

少子高齢化や核家族化による社会の多様化・複雑化を踏まえ、社会福祉法人間の協力に必要な合同研修に取り組みます。

12. 地域福祉活動計画の策定

下田市や市民のみなさまと協力して『地域福祉活動計画』を策定するにあたり、地域懇談会等を通して地域の課題を話し合い、行政と住民が共に取り組む活動計画づくりを行います。

共同募金地域福祉活動

共同募金（赤い羽根募金・歳末たすけあい募金）で市民のみなさまから寄せられた寄付が、地域の多彩な活動を財政面から支えています。

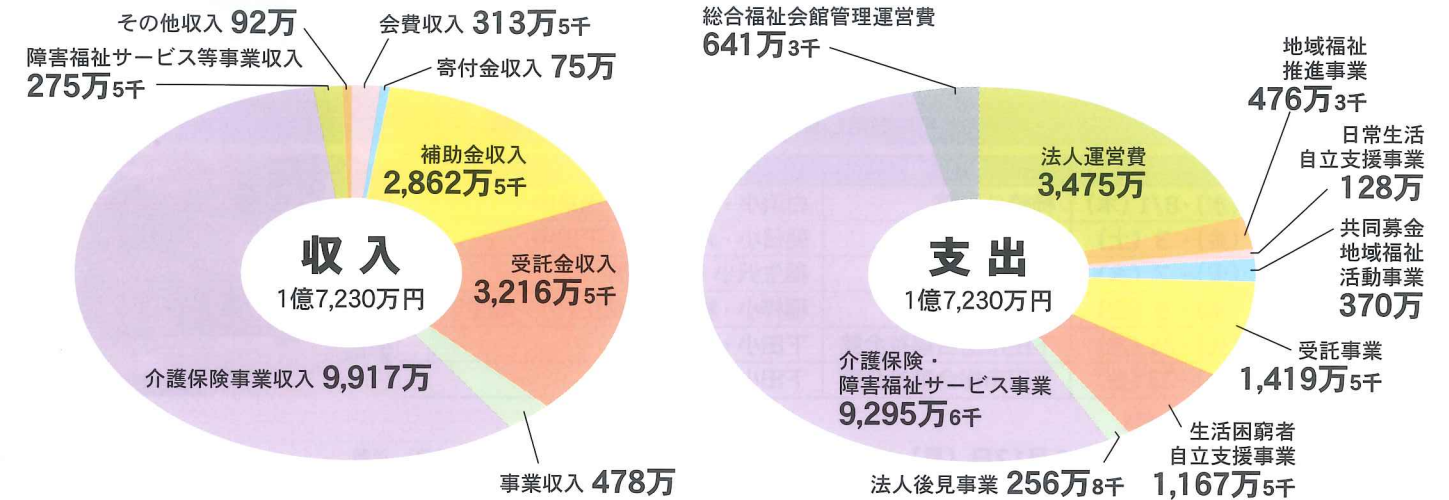


1. 地域福祉活動・生活援助事業として、市民ボランティア団体の活動助成、「歳末たすけあい」、「寝たきり高齢者」等の見舞金を支給します。
2. 障害当事者の会活動助成、知的障害・肢体不自由児（者）施設入所者へ見舞金を支給します。
3. すぎのこ作業所、老人クラブ連合会等の福祉団体活動を助成します。
4. 子どもたちの福祉体験事業、子育て支援事業など、地域で自主的に行われている福祉活動へ助成を行います。

下田市くらし支援センター

生活保護に至らないよう、生活上の問題や悩みを抱えている方の相談に応じ、自立支援のサポートを行います。

2019年度 予算総額：1億7,230万円



1. 自立相談支援

生活困窮者を支援するため、支援員が相談を受けて、どのような支援が必要かを相談者と一緒に考えます。

2. 家計改善支援

相談者と共に家計管理の方法を考え、生活の改善に努めます。

3. 子どもの学習支援

子どもたちが自分から「勉強しよう」という気持ちを育てる場所づくりを行います。



4. 住宅確保給付金（有期）の利用相談

成年後見事業

認知症、知的障害、精神障害などにより判断能力が十分でない方へ後見人等が財産管理ならびに身上監護を行います。

1. 法人後見

下田市社会福祉協議会が後見人等になり、判断能力が不十分なために意思決定が困難な方の財産管理等と、身の上の法律行為を行います。

2. 市民後見人の育成と継続的支援

市民のみなさまへ、親族以外の市民が行う後見人活動の取り組みを広めていきます。

在宅福祉サービス(介護保険事業等)

1. 介護支援専門員による在宅サービス計画の作成・支援

在宅で生活している方々の相談に応じ、介護サービスの利用相談と関係者間の連絡を取り、利用者の状況に合わせて、自立した日常生活を営むための支援を行います。

2. 下田市デイサービスセンターの運営

65歳以上の方で、身体上や精神上的の障害により日常生活を営むのに支障がある方が、施設に日帰りで通うことにより、入浴・排せつ・食事等の介護、機能訓練への取り組みをお手伝いします。



3. 訪問介護員の派遣

利用者が可能な限り自宅で自立した日常生活を送ることができるよう、介護スタッフが利用者宅を訪問し、食事・排せつ・入浴などの介護や、掃除・洗濯・買い物・調理などの生活のお手伝いを行います。

指定管理者受託施設運営

下田市から下田市総合福祉会館の管理者指定を受け、介護保険施設の拠点である下田市デイサービスセンターの管理運営と、高齢者の生きがい健康づくりの推進を図るための老人福祉センターの管理運営を行います。

社協会費ご協力をお願い

社会福祉協議会は地域が抱えている問題や福祉制度の狭間にある課題へ取り組み、地域の特性を活かしたサービスづくりに取り組む民間非営利団体です。社会的孤立、生活困窮、子どもの貧困など多様化する課題を自らの問題として受け止めていただき、共に課題へ取り組む仲間として、ぜひみなさまに当社会福祉協議会へ会員としてご加入いただきたい次第です。本年も市内行政区の区長様を通じ、みなさまに社会福祉協議会一般会費として一世帯あたり年額500円のご負担をお願いしております。会費ですのであくまでも任意ですが、当社会福祉協議会の活動に何卒ご理解をいただき、ひとりでも多くの市民のみなさまが社会福祉協議会の会員としてご協力くださいますようお願い申し上げます。

『しもだし夏休み学習サポート教室』参加者募集

下田市社会福祉協議会『くらし支援センター』は、下田市在住の小学校4年生から6年生と中学生を対象に、学習支援やレクリエーション等を通じた交流体験を実施します。

しもだし夏休み学習サポート教室日程表

日 程	会 場	募集対象校
7/31(水)・8/1(木)	柿崎公民館	白浜小・浜崎小・下田東中
8/2(金)・3(土)	みくらの里	朝日小・大賀茂小・下田中
8/6(火)・7(水)	稲生沢公民館	稲生沢小・稲生沢中
8/8(木)・9(金)	梓の里	稲梓小・稲梓中・稲生沢小・稲生沢中
8/20(火)・21(水)	下田市総合福祉会館	下田小・下田中
8/22(木)・23(金)	下田市総合福祉会館	下田小・下田中



【参加費】 無料

【募集期間】 令和元年6月17日(月)～6月21日(金) ※郵送の場合は6月24日(月) 必着

【申込方法】 募集要項・申込用紙等は学校を通じて児童生徒のみなさんに配布いたします。

【申込先・お問合わせ】 〒415-0024 下田市四丁目1番1号 社会福祉法人 下田市社会福祉協議会「くらし支援センター」
☎0558-22-3294 (受付時間 8:30～16:30 ※ 平日のみ)

『市民後見人養成講座2019』説明会

下田市社会福祉協議会では賀茂地区にお住まいの方(概ね75歳まで)を対象に、9月から市民後見人養成講座を開催します。講座の実施にあたり説明会を開催しますので、成年後見制度(市民後見人)に関心をお持ちの方はぜひご参加ください。

【内 容】 『成年後見制度と賀茂地区の現状について』

講師/伊豆下田法律事務所 弁護士 篠崎元貴 氏

【日 時】 令和元年6月29日(土) 午前10時～午前11時30分

【場 所】 下田市民文化会館2階 第会議室

【申 込】 6月21日(金) までに電話でお申込みください。

下田市社会福祉協議会 ☎0558-22-3294

(受付時間 8:30～16:30 ※ 平日のみ)



『みんなが誰かのために。』(平成31年2月～平成31年4月)

下田市社会福祉協議会へ寄付をくださったみなさまで。ありがとうございます。みなさまの気持ちを大切に活かします。

〈は が き〉 菊池綾子 様

〈ブルタブ〉 鳥原 茂 様、繁美建材土木 様、明治安田生命下田営業所 様

〈古 切 手〉 山本宏子 様、浜口はるみ 様、特別養護老人ホームみなとの園 様

『ありがとうメッセージ』
共同募金災害活動用資機材整備

平成30年は日本列島が多くの災害に見舞われました。台風等の風水害や地震・津波が発生してしまったとき、その被災地では災害ボランティアによる活動も大きな力を発揮し、支援活動において大切な役割を果たすようになっていきます。

下田市社会福祉協議会も、ふだんからボランティアや市民活動の推進・支援を行っています。今回いただいた共同募金497,707円にて、災害支援活動用の資機材を購入しました。被災してしまったとき、ボランティアが速やかに現地の支援活動に着手できるよう準備するものです。共同募金へのみなさまの心あたたまるご協力に深く感謝いたします。ありがとうございました。



東日本大震災復興支援活動2019



東日本大震災で被災された方々や地域のために、私たちにできることはないだろうか…』あの震災から8年。2011年に始めた復興支援活動は今年8回目となりました。今回は下田市“第80回黒船祭”開催期間中、下田市ボランティア連絡協議会員が市内各所に分かれ、街頭募金&応援メッセージフラッグ活動を行いました。集められた支援金は応援メッセージフラッグとともに、東日本沿岸部の2市へ直接送っています。

これまで合計255万円の支援金を募ることができました。今回も、被災地に想いを寄せてくださるみなさまの気持ちを募ることができ、感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

2019年5月18日(土)・19日(日)

募金ボランティア 述べ149名

◆募金総額 199,040円

・宮城県石巻市のみなさまへ 99,520円

・ " 東松島市のみなさまへ 99,520円

